小林市長 様

次のとおり関係書類を添えて、食費・居住費(滞在費)に係る負担限度額認定を申請します。

	フリガナ	1						1								<u> </u>		<u> </u>				<u> </u>
	2 9 A 7							被保険	者番	号												
被	保険者氏名							個 人	番	号												
生	年月日			3	年	月	目	性	別		•				男	•	•	女				
1	主 所	連絡先																				
介語	所(院)した 護保険施設の 生地及び名称 (※)	連絡先																				
入声	所(院)年月日 ( <b>※</b> )	年 月 日 (※)介護保険施設に入所(院)していない場合及びショートステイを 利用している場合は、記入不要です。																				
酉	]偶者の有無	有 ・ 無 左記において「無」の場合は、以下の「配偶者に関する事項」については、記載不要です。																				
	フリガナ																					
配偶者	氏 名																					
	生年月日				年	月	目	個人	番号													
石に関す	住 所	連絡先																				
る事項	本年1月1日 現在の住所 (現住所と 異なる場合)																					
	課税状況	市町村民税 課税 ・ 非課税																				
		□ ①生活保護受給者/②市民税世帯非課税である老齢福祉年金受給者です。																				
収 入 等 に 関する申告		③市民税世帯非課税であって、 課税年金収入額と【遺族年金※・障害年金】の収入額、その他の合計所得金額の合計額が、 <u>年額80万円以下</u> です。 (受給している年金に○をしてください。) ※ 寡婦年金、かん夫年金、母子年金、準母子年金、遺児年金を含みます。以下同じ。																				
		④市民税世帯非課税であって、 □ 課税年金収入額と【遺族年金※・障害年金】の収入額、その他の合計所得金額の合計額が、 <u>年額80万円を超え、120万円以下</u> です。 (受給している年金に○をしてください。)																				
		⑤市民税世帯非課税であって、 □ 課税年金収入額と【遺族年金※・障害年金】の収入額、その他の合計所得金額の合計額が、 <u>年額120万円を超え</u> ます。 (受給している年金に○をしてください。)																				
預貯金等に 関する申告		預貯金、有価証券等の金額の合計が②の方は1,000万円(夫婦は2,000万円)、③の方は650万円(同1,650万円)、 ④の方は550万円(同1,550万円)、⑤の方は500万円(同1,500万円)以下です。 ※第2号被保険者(40歳以上64歳以下)の場合、③~⑤の方は1,000万円(夫婦は2,000万円)以下です。																				
	※通帳等の写 ンは別添	1 <del>7</del> H H-7-7-5-8H				J 1	西証券 概算額)					_	の他負債を	È	( <b>※</b> 内容	字を記	入して	こくだ	さい。	) P	* 9	
								申請者	そがねん	(早)除	老木	LO	坦仝	1714	· 下	記して	~l/\	て記	載け	不更	です	

申請者氏名	連絡先(自宅・勤務先)
申請者住所	本人との関係

## 注意事項

- (1)
- (2)
- (3)
- この申請書における「配偶者」については、世帯分離をしている配偶者又は内縁関係の者を含みます。 預貯金等については、同じ種類の預貯金等を複数保有している場合は、その全てを記入し、通帳等の写しを添付してください。 書き切れない場合は、余白に記入するか、又は別紙に記入の上添付してください。 虚偽の申告により不正に特定入所者介護サービス費等の支給を受けた場合には、介護保険法第22条第1項の規定に基づき、支給された額及び最大2倍の加算金を返還していただくことがあります。